



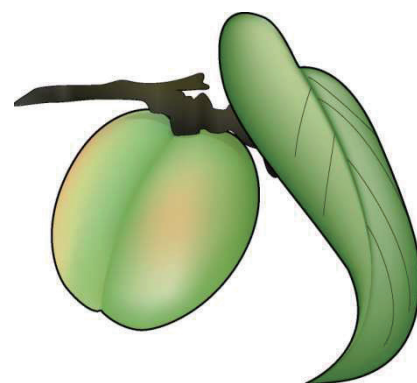
プラムポックスウイルス イムノクロマト

製品名	包装単位	製品コード	希望納入価格(税別)
プラムポックスウイルス イムノクロマト	50 テスト	PPV050	37,000 円

本製品は、本キットは、金コロイドイムノクロマト法の原理に基づいた、プラムポックスウイルス抗原検出試薬です。

プラムポックスウイルス(plum pox virus: PPV)は、モモ、スモモ、アンズ、ウメなどのPrunus属(サクラ属)の植物に広く感染するPotyvirus属の植物ウイルスで、1915年に欧州で発見されて以来、世界各地で確認されています。感染した樹木では葉に退緑斑点や輪紋が生じる他、果実の表面にも斑紋が現れることがあります。

2009年3月、東京大学植物病院®において、これまで日本で発生の報告が無かったPPVがウメから検出されました。PPVのまん延防止には、発生範囲を特定し、封じ込めを行うことが重要です。この重要病害の発生という事態を受けて、本キットは、日本で確認されたPPVの検査を目的として緊急に開発されました。



特 長

▶ 簡単操作

特殊な実験機器や道具を必要としません。キット内容物のみで実験が完結し、操作も簡単です。

▶ 高感度

限界感度は遺伝子検査法に及びませんが、新鮮なウメ葉病徴部の抽出液で陽性反応が出ることを確認しています。適切なサンプリングを行うことで、効果的なスクリーニングを行うことができます。

▶ 明確な判定方法

15 分後の判定ラインの有無を、目視で判定します。

▶ 日本での使用に最適(D系統、M系統の検出を確認済)

本キットに使用している抗PPV 抗体は、日本で確認されたPPV(D 系統)から開発されています。D系統に加え、2016年に日本国内で新たに確認されたM系統の検出も可能です。(2017年5月現在)

構成品

構成品	50テスト用
テストストリップ	50本
抽出液(50 mL)	2本
サンプルチューブ	50個
サンプルチューブスタンド	1個
スポイト	50個
抽出用袋	50枚
取扱説明書	1 部



使用方法

1. 感染が疑われるウメ葉から病徴部を含むサンプル(約2×2cm)を抽出用袋に入れる。(Fig.1,2)

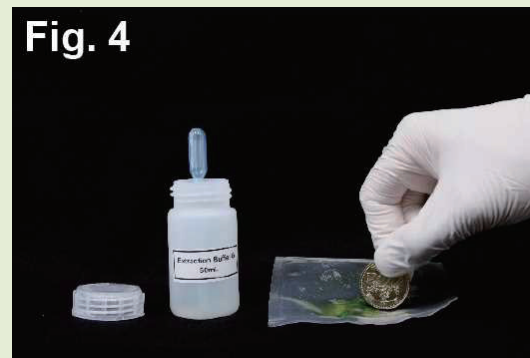
Fig. 1

 資料提供 東京大学植物病院[®]

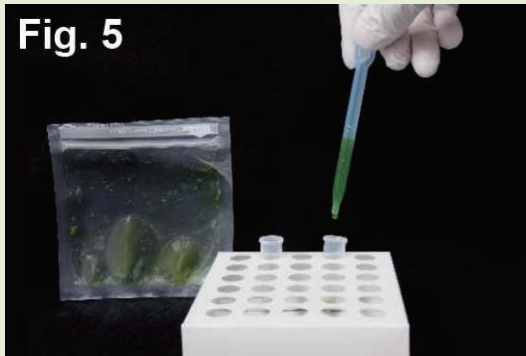
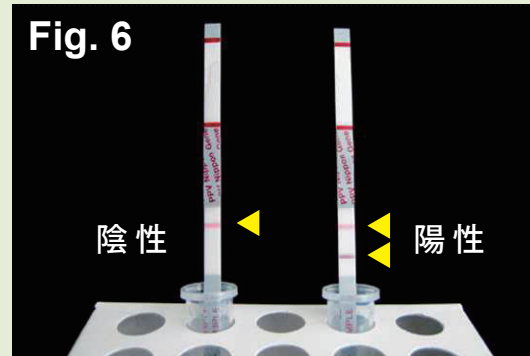
Fig. 2


2. サンプルの入った抽出用袋に抽出液を添加し、袋を閉じて上から葉をすり潰す。(Fig.3,4)

Fig. 3

Fig. 4


3. 抽出液をサンプルチューブへ移し、テストストリップを抽出液の入ったサンプルチューブに入れる。(Fig.5)

Fig. 5

Fig. 6


4. 15分後に判定する。ラインが2本出ていれば陽性、1本の場合は陰性。(Fig.6)

【備考】

- 本品は、試験研究用試薬です。
- 本紙掲載の製品仕様や価格を予告なく変更する場合があります。表示価格は2025年4月現在の希望納入価格(税別)です。

株式会社ニッポンジーン

[Address] 〒930-0834 富山県富山市問屋町二丁目7番18号

[TEL] 076-451-6548

 [URL] <https://www.nippongene.com/kensa/>

 [E-mail] support@nippongene-analysis.com

ニッポンジーンECサイト

本品は、「ニッポンジーンECサイト」でご購入いただけます。

 [URL] <https://nippongene-analysis.com/order/>